

## NPO法人コンカリーニョ 2014 年度事業報告

### 1. 事業の成果

2013 年度に策定した“コンカリーニョ 3 か年計画”の推進を図り、運営する三館（コンカリーニョ、パトス、あけぼのアート&コミュニティセンター）それぞれの特徴を活かした活動を行い、職員の多大なる努力により、一定の成果とともに、急務であった経営の立て直しを図ることができた。

また、職員間の連携がたいへんよくなり、それぞれの施設、あるいは事業担当職員だけではなく、ほかの職員も一丸となって、時々の実務的課題に取り組み、行動していく意識が高まってきたことは、今後に向けた大きな進歩の1年となった。

#### <2014 年度トピック>

- ・ あけぼの安定運営復活と施設活用の活性化
- ・ CFP を活用し、寄付金を募ることができた。
- ・ 「遊戯祭」7 年ぶりの復活により、若い演劇活動者との接点をもつことができた。

#### 【2014 年度の活動で協賛、助成等ご支援を受けた団体】

(独)芸術文化振興基金、(公財)北海道文化財団、(公財)北海道地域活動振興協会、札幌市さぽーとほつと基金[恒栄工業 文化・芸術・スポーツ振興基金]、地域商店等 25 件

#### 3 か年計画[2013 年度=2 年目/3 か年]

1. 場所の底力UP コンカリーニョが持つ資源を活かし、たまり場づくり、地域貢献、集客UP を狙う。
  - ⇒きらめくパッチワーク事業継続
  - ⇒舞台人鑑賞応援プロジェクト始動
2. 札幌演劇界の底力UP 演劇界の発展に寄与すると共に、劇場の稼働率も上げることを狙う。
  - ⇒若手演劇人の人材育成（遊戯祭復活、技術WS）
  - ⇒レジデントアーティスト(intro、yhs)は、セカンドステップへ
3. 経営の底力UP コンカリーニョが今後も継続していける環境づくりに力を入れる。
  - ⇒認定NPOの取得
  - ⇒公設施設の管理運営事業

## 2. 事業の実施に関わる事項

(1) 特定非営利活動に係る事業 【 】内の番号は、特定非営利活動に係る事業内容（添付資料最終頁参照）

### I. 施設運営事業 【①⑥】

事業費 37,544 千円

#### A) 生活支援型文化施設コンカリーニョ

ここ数年上昇傾向にあった稼働率が、昨年度は前年比4.4%マイナスという結果に終わった。これは、事前に稼働状況が予測できていたにもかかわらず、稼働の落ち込む時期に対して先行して対策を打っていくことが出来なかった事が原因と考えられる。

		前年度比
利用率	53.7%	4.4%減
プログラム数	62 本	8 本増
総利用者数	18,236 人	6.0%減
事業費	14,002 千円	4.1%減

ただ、前年比稼働率減という厳しい状況の中ではあるが、この1年でコンカリーニョを含めた全運営施設について、それぞれの担当職員だけではなく、他の施設の担当職員も一丸となって運営や稼働などについて考え、行動していく意識が高まってきたことは、今後に向けた大きな進歩となったと感じている。

コンカリーニョセレクション等で上質な作品を提供しつつ、遊戯祭15では若手演劇人と作品作りやスタッフワークを共に行い、また、念願だったスタッフ向けのワークショップも、試験的には有りますが開催することが出来た。コンカリーニョという劇場への「関わりかた」という点では広がりのある1年になった。

#### B) ターミナルプラザことにパトス 【⑥⑭】

8月の演劇シーズン、4月の遊戯祭、および例年4月に利用されるイベントの5月への移動によって稼働低迷期が好調になり、稼働率は過去最高となった。初利用劇団も3団体あり、演劇利用割合が23.4→42.1%へ増加した。ギャラリーのイベント利用は、レギュラー利用が一件減ったが好調であった。低迷が続いていたスタジオの利用も、ホームページ閲覧の新規利用獲得で順調に伸びている。

		前年度比
利用率	63.3%	15.9%増
プログラム数	122 本	16 本増
総利用者数	25,027 名	20.4%増
事業費	6,343 千円	増減ナシ

#### 1. 自主企画

[年間ブッキングライブ3回・カフェコンサート3回開催、195名参加]

パトスを広く周知し、利用促進を目指して始めた自主企画は、来年度8月で5年を迎える。出演者の視点で魅力あるイベント作りを目指し、これまでの出演者とともに、「ブッキングライブチーム」を立ち上げた。開催時期を1・5・9月に限定し、早めの募集開始と開催時期を覚えてもらうことで参加促進につながった。カフェコンサートはホール利用増加により開催が激減したが、開催の問い合わせが多く寄せられ、「待たれる催し物」に成長した。出演者・参加者は他のライブバーなどにも出演することが多く、自然とパトスでのライブ告知も進むという付加価値もある。

また、「パトスブッキングライブ」、「パトスカフェコンサート」に参加した方々主催によるリピート利用が増え（ホール9件、ギャラリー7件）、企画継続の効果を実感している。

#### 2. 「きらめくパッチワーク事業」

パトスを使ってそれぞれのやりたい想いを実現することと、パトスに関わってくれる仲間づくりを目指して2013年度より始めた企画。6月10日には、メンバーの障がいを持つ方が所属する事業所と

の協働イベント「ばりばらパトス〜ドナルドタックの陣〜」を開催。いままでのパトス企画に出演参加の方々と出演することで、双方のお客様に見ていただけるイベントとなり、芸術分野ではない他ジャンルとのコネクション作りにもなった。しかし、毎月の作戦会議「パッチワーカーズ・サロン」は、参加人数が減少している。

3. CD や作品の販売希望が多くあり、溜まり場に向けて入りやすい雰囲気になれば良いと考え、カウンターにて委託販売中。以前行っていた販売コーナー復活（自販機も含む）も検討している。バリスタによる「パトスのチャリティーコーヒー」も順調。急がない、運営に致命的ではない備品はこのチャリティー募金にて購入予定。

C) あげぼのアート&コミュニティセンター 【⑦⑭】

第2期管理運営期間(平成25～28年度)の2年目は、長期貸室の短期貸出しにより、3つの空き室が演劇、ダンス、音楽、撮影等に利用され、多様なジャンルで活性化し、稼働率も増加した。また一般貸出しスペースも、体育館、中ホール、音楽室、交流室すべてにおいて前年度の稼働率を上回った。

		前年度比
利用率(長期)	78.7%	5.5%増
(一般貸室)	40.7%	11.3%増
総利用者数	46,799人	19.7%増
事業費	17,199千円	2.1%減

年度開始にあたり、事務局の職員を一新し、利用者や地域の方との会話、職員相互のコミュニケーションを密にし、施設の機能を見直すことや、特色をアピールすることに努めた結果である。

また近隣の苦情への具体策として、体育館利用者のマナー徹底を図る一方、各入り口に看板、バリエードを設置、閉館時はチェーンで閉鎖することを日常化し、長期入居者に向けても、貸室の全室と廊下に網戸を設置するなど、設置者である札幌市とも連携しながら、施設改善に取り組んだ。

主な出来事		
8月3日	曙地区連合町内会 サマーフェスティバル2014in曙(実行委員会主催)	1,000名参加
10月13日	アニメまんがフェスタ	32名参加
12月23日	あげぼのDEクリスマス会	31名参加
12月中旬～ 12月下旬	全国巡回プロジェクトJCDN「踊りに行くぜ！」ダンスinレジデンス [平成26年度文化庁新進芸術家育成事業]	11名参加(うち 大阪より2名)
12月28日	餅つき大会	45名参加
5月17日	DANCE BOX「国内ダンス留学@神戸」札幌説明会&交流茶話会	6名参加
6月21日	あげぼの音楽祭	42名参加
通年	○あげぼのファーム活動 2団体、9個人登録 7～11月上旬 畑作業およびミーティング ・8月3日 サマーフェスティバル2014in曙にて出店 ・10月4日 焼肉交流会 ・10月26日 芋ほり大会 ・11月1日 収穫祭交流会・畑の振り返りの会 ・2月22日 冬季勉強会	5名参加 16名参加 10名参加 18名参加 4名参加
	○図書ボランティア 12名登録、総利用登録131名、蔵書3,500冊 年間貸出冊 690冊、総利用者数 880名 9月5～7日 図書祭り	200名参加

○入居者会議 奇数月第2水曜日定例(6回)

○地域連絡会 2回(11月20日、4月23日)

○曙通信発行 曙まちづくりセンターと共同編集、連合町内会で回覧 4回(9月、11月、2月、5月)

## II. 企画事業【①②⑥⑦】

事業費 5,448 千円、総来場者数 11,553 名

7月4日	ジヤナグルコンサート@パトス(共催)	1ステージ 120名来場
7月20日	コンカリ夏祭り	2日間 250名来場
8月1日～9日	札幌演劇シーズン2014夏 イレブンナイン「あっちこっち佐藤さん」	12ステージ 1,166名来場
8月13日～19日	札幌演劇シーズン2014夏 弦巻楽団「死にたいヤツら」@パトス	9ステージ 656名来場
10月25日	マドモアゼル・シネマ「赤い花・白い花、それから」 (from 東京、道外応援)[助成:(公財)北海道文化財団]	1ステージ 121名来場
11月8日、9日	時間堂「衝突と分裂、あるいは融合」(from 東京、道外応援) 6月現地出演者オーディション、9月稽古 [助成:(公財)北海道文化財団]	3ステージ 197名来場
11月21日、22日	ハイバイ「靈感少女ヒドミ」(from 東京、共催) 10月WS [助成:(公財)北海道文化財団]	3ステージ 246名来場
11月27日 ～12月1日	intro「薄暮(haku-bo)」(レジデント提携) 9月プレビュー公演@パトス、10月大阪公演、11月東京公演 [助成:(公財)北海道文化財団]	5ステージ 288名来場
12月1日、2日	世界エイズデー、レッドリボン「PRESENT」@パトス(協力)	2ステージ 188名来場
12月6日、7日	赤×坂二人芝居「イコール」(from 大阪、道外応援) [助成:(公財)北海道文化財団]	3ステージ 141名来場
1月17日	JCDN「踊りに行くぜ!! II」vol.5札幌公演 [平成26年度文化庁新進芸術家育成事業] [助成:(公財)北海道文化財団]	2ステージ 96名来場
1月24日～2月1日	札幌演劇シーズン2015冬 イナダ組「カメヤ演芸場物語」	13ステージ 1,496名来場
2月28日～3月1日	住民参加温故知新音楽劇「琴似八軒70'sグラフィティ」 [助成:(公財)北海道地域活動振興協会、札幌市さぼーとほっと基金 協賛:地域商店等25件]	3ステージ 537名来場
3月21日、22日	チェルフィッチュ「地面と床」(from 東京、共催) [助成:(公財)北海道文化財団]	2ステージ 240名来場
4月10日～12日	第9回生活大骨董市	3日間 800名来場
4月25日～29日	遊戯祭'15「手塚治虫に告ぐ」 [助成:(独)芸術文化振興基金、札幌市文化芸術振興助成]	15ステージ 1,612名来場
6月10日	時間堂演劇WS@パトス(共催)	2講座45名参加

6月13日、14日	INDEPENDENT : SPR15	4ステージ 281名来場
6月23日、24日	音響照明WS	2回 12名参加
6月25日	松井真人（劇団あおきりみかん）俳優WS（道外応援プロモーション）	1講座 17名参加

主催事業7本、参画実行委員会主催4本、提携共催9本

### Ⅲ. 出前派遣事業

事業費 5,604 千円

#### ○技術制作派遣【①②④⑩】

琴似飲食業組合ビール祭り、はこだて民族芸術祭、北海道文化財団舞台芸術情報フェアほか

#### ○講師派遣【③④⑤⑨⑩】 コミュニケーション教育事業（篠路中）

#### ○コーディネート事業【②⑦⑨⑩】 チカチカ☆パフォーマンススポット

### Ⅳ. 共通事業【①⑬】

#### ○おらコン通信の隔月会員郵送(隔月 200部\*6回)

#### ○メールニュース、メルマガ発行(月1~2回 400名\*15回)

#### ○内部ミーティング

役員会：定例奇数月第2月曜日 19:00~ 6回

カリットミーティング：定例毎月第4水曜日 19:00~ 12回

企画会議：偶数月開催 5回

(2)その他の事業 該当なし